

追加のルールとお願い

本年度、開幕関西大会、信越北陸地区大会を終えた時点でシーズン中ではございますが、中部地区大会より以下のルールを追加いたします。追加の理由は各項目の説明をご覧ください。

<1>ゴール後の30秒ルールの項目追加について

ゴール後30秒以内に愛犬が捕まらない場合失格になるルール（30秒ルール）は昨年より適応しておりますが、次の出走のペアがいつ出走できるのか計算できなくなることや、進行が遅れる影響なども考慮し、以下の通りルールの追加を行います。また、決勝大会は、多くの一般来場者に飼い主の見本となる姿を見ていただくという目的もあります。その場で長時間呼んでも帰ってこない姿を見られることは、理想的な姿を見ていただく目的に反しますので、決勝大会の参加の権利に関する項目も盛り込んでおります。

◆練習会での適応

- ・練習会の該当種目の記録は失格となります。
- ・翌日の地区大会に参加する参加犬は、総合・ハイスピード共に最後の出走となり、記録は参考記録となります。

◆地区大会での適応

- ・総合で30秒ルールにより失格になった場合、ハイスピードが最後の出走となり、記録が参考記録となります。
- ・種目に関係なく年内は総合・ハイスピード共に決勝大会に出られなくなります。
- ・すでに決勝の権利を得ている参加犬の場合、総合・ハイスピード共に決勝の権利が消失し、年内は総合・ハイスピード共に決勝大会に出られなくなります。

<2>スタートのルールの追加について

スタート台に乗せた後、参加犬が柱の間をくぐらず台から降りた場合、スタートをしていないため、現在は無限に時間を使うことができるようになっておりましたが、こちらスムーズな進行ができなくなってまいりますので、以下の通り2023年の暫定ルールを追加いたします。

- ・スタート台に参加犬の4本脚全てを乗せた後、参加犬が台から降りる行為（※1）は3度目で失格となります。ただし練習会では失格にはならず、強制的にリード付き部門となります。
（※1）四本脚すべてが地面に降りた状態を指します。例えば後ろ脚だけが滑るなどして台の下に降りるのはカウントされません。

<3>お願い・愛犬や周辺の人や犬を委縮させる行為について

おもちゃをはじめ、物を愛犬の方向に強く投げつける行為は、当てるつもりのあるなしや当たったかどうかにかかわらず愛犬との信頼関係を損なう行為であり、エクストリームの開催趣意である愛犬との絆を深めることに反します。その時は萎縮させることで動きを止めるなどの効果が見られるかもしれませんが、長い目でみるとデメリットが大きくなります。また、投げる方向を誤ったりバウンドしたときにほかの参加者や愛犬に当たる危険もございます。愛犬に向けて物を投げつける行為は絶対になさらないようお願いいたします。ルールの「06. 失格」の項目に「犬に対して残虐性のある行為や動物愛護の精神に反する行為が見られた場合」にも抵触いたしますので、場合によっては即時失格となる可能性もございますことをご了承ください。

基本的なマナーのご紹介

ドッグスポーツの魅力の一つに、犬好き・ドッグスポーツ好きという共通項をもつ人と人が出会い輪が広がっていくことがあります。こちらも愛犬家マナーが守られたうえでのものとなります。以下に、基本的なマナーの例をご紹介しますので、参考にいただければと思います。

- テントの柱、会場の装飾、看板、樹木などにおしっこをさせないで下さい。してしまった場合は水や消臭剤で処理をして下さい。
- 愛犬のウンチのお持ち帰りにご協力ください。
- 会場内の蛇口に愛犬の口をつけて直接飲ませないようにしてください。
- 公園の共有のベンチや椅子に愛犬を直接乗せないでください。
- 東屋など、公園の一般利用者のための施設は、一般利用者のために空けておいてください。
- 会場の管理者や清掃のスタッフから利用に関して注意を受けた場合は従ってください。相手の勘違いであった場合でも穏やかに対応してください。
- 競技フィールド外でノーリードにしないで下さい。「持ち込み機材を本拠テントの近くに置きノーリードで練習」「空き時間にノーリードにしてフライングディスクをする」などはしないで下さい。ただし、練習会の日に体験エリアのトンネルの練習でトンネルを通過する瞬間は例外とします。
- ロングリードをつけていたとしてもフィールド内から見える範囲でのディスク遊びやボール遊びは控えてください。
- 待機中、外周ネットの付近に愛犬が常にいる状態にはしないでください。特にほかの愛犬が走行中に吠えてしまう愛犬はテントの前面ではなく後方に下げていただければと思います。
- 愛犬がほかの人に吠えたり飛びついたりしたときは相手の飼い主さんに一言謝罪をしてください。
- パート練習の時など、愛犬がほかの参加犬を追いかけるなど迷惑をかけたときは、相手の飼い主さんに一言謝罪をしてください。
- ヒート犬の会場内の移動は必要最低限にして下さい。出走の時以外はヒート犬を連れて場内を歩き回らないようお願いいたします。
- ゴール延長線上周辺は混み合いますので、走行中のペアの関係者以外は溜まらないようお願いいたします。
- 出走順が近くなりましたら、スタート呼び出しのスタッフがコールしたときにすぐフィールドに入ることができる位置にスタンバイしておいてください。
- ほか、自身の愛犬だけでなくほかの愛犬およびご参加の皆様が快適に過ごすことのできるように、またエクストリームだけでなくドッグスポーツのイメージが良くなりますようにご協力をお願いいたします。

☆皆様には愛犬家の見本となっただき、日本のドッグマナーのレベルを上げていただければと思います。